



NO. 923

2013. 6. 16

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三、四四五八
F 四二一、四四五七

市議会第2回定例会開会

新議長に小田部氏

副議長は山田氏再選

網走市議会第2回定例会が11日開会し、初日に任期折り返しの議長、副議長選挙が行われました。3人立候補した議長選挙では、13票獲得した小田部善治氏(72)が、副議長選挙では、4票の工藤英治前議長(71)が、夢みらい新風、2票の飯田敏勝氏(68)が、共産党議員団を破り議長に選出されました。その後、行われた副議長選挙では、13票の山田庫司郎氏(62)が、民主市民ネットが、4票の佐々木玲子氏(58)が、公明クラブ、松浦敏司氏(60)が、共産党議員団の両氏を破り、再選されました。

補正予算案など8件が提案され、13日、14日に開催の3常任委員会で審査されました。その他の市議会人事は、監査委員に空英雄氏(68)、希望拓進会が、4票の工藤英治前議長、総務文教委員長は平賀貴幸氏(40)、民主市民ネット、生活福祉委員長に渡部真美氏(46)、民主市民ネット、経済建設委員長に佐々木玲子氏(58)、公明クラブ、議会運営委員長は七夕和繁氏(37)が決まりました。

その後、水谷洋一市長より市民健康プール建設の基本設計、潮見小・一中の暖房設備改修などを盛り込んだ総額7,664万6千円の補正予算案をはじめ子ども子育て支援新制度準備事業、市税条例の一部改正と導水管の布設替えや常設型流量計の設置といった断水の未然防止対策にかかる水道事業の

網走地区消防組合議会議員の7名には、小田部議長をはじめ、飯田、井戸、近藤、高橋、七夕、平賀の各氏を選出しました。



南後援会が焼肉と花見!

寒かった5月が過ぎ、6月に入って天気が続き遅れていた農作業も進みました。そんな中、南後援会は、6月8日(土)松浦事務所の庭で焼肉と花見を行いました。

この日は、朝から雲ひとつない天気で、気温もどんどん上がり、焼き肉を始める頃には23度を超えていました。あまりに暑いのでテントで屋根を作り暑さ対策をして楽しみました。



松浦市議からアベノミクスのメッキがはがれてきたことや維新の会の正体が話され、だからこそ何としても参議院選で比例の紙智子さんの3選をとの訴えがあり、乾杯して楽しく交流しました。

松浦市議員選挙から2年が経ち、市議会は2年に1度の議長、副議長の人事をはじめ各常任委員会の構成も変わります。

市議会議員選挙から2年が経ち、市議会は2年に1度の議長、副議長の人事をはじめ各常任委員会の構成も変わりますが、共産党議員団など4会派ありますが、これまでも、共産党議員団に対して、一部の会派は、予算や決算に反対してきているからとの理由をつけて、常任委員長やその他の役職につくのを拒んできました。

しかし、道内や全国では共産党議員の委員長はたくさんいますが、そのことで議会が混乱したという話は一度も聞いたことがありません。

今回も理由にならない理由で、話し合いが長引き夜の8時までかかりました。最後まで正論を主張し、多くの議員の協力のお陰で、やっと、議会推薦の農業委員ポストを内定することができました。20日の議会最終日に決定する予定ですが、TPPに反対し農業を守るため頑張ります。

流水

▼6月が慌しくやって来た。そのうちに7月もやって来る。▼私事だが、5月に「歌」にかかわる2つの行事を終えた。▼1つは、29回「合唱団あばしり」の定期演奏会。2年7ヶ月が空き、団員も減少して迎えた舞台だった。「なんと健気な舞台だろうか」、「この倍の人数で、聞きたかった」、「この人数で企画、構成、演出すべてグー、しばし夢こち」、「久々の文化に触れ、いい歌達だった」の感想に感謝し、新しい楽譜に取り組んでいる。▼2つ目は、「歌こえ喫茶」だ。参加者も楽器も増え会場を「ちばしり」に変更した。ピアノやエレキギターが加わって歌声を支える。参加者のハーモニーはそこで何重にも渦を巻くように厚く、熱く折り重なって響きあった。司会担当のMさんは思わず「歌こえ合唱団が誕生しました!」と。この広がり、そこに集う感動と歓びだった。▼「歌」は、人間の生活から産み出され、受けた心の印象は消え去ることはない。歌い続けよう。▼7月は、大切な選挙を控えている。96条の憲法改正要件だ。人間の尊厳を守らなければ、音楽も守れない。しっかり考えて1票を投じる。(て)

